

ひさかたの光 ~花の日新を目指して~

《二月の花》

着眼大局着手小局 (ちやくがんだいきよくちやくしゅしょうきよく)

上の言葉は私の大好きな棋士、升田幸三さんの言葉です。皆さんは若いから「升田幸三」と言っても誰？となるのですが、今風に例えると「藤井聡太竜王のような人」と言えば分かるかと思えます。とにかくその強さは、将棋の寿命(結論※印参照)を300年縮めたといわれ、定跡にとらわれず「新手一生」を掲げ、誰もが不利と考えた局面でも「いいや、まだこんな手がある」と次々と新しい手を繰り出す姿に、私は今でも惹かれています。たかが将棋(ゲーム)ですが、そこから学ばされる「生き方」があります。それは「苦しい時でも諦めず、じっくり考えて打開策を見出し、そして実行に移すことが大切だ」ということです。日新高校の皆さんにはこれからの人生において「諦める理由を探す人」(チャレンジしない人)には、なって欲しくありません。失敗を恐れず、常に前向きで生き切ってください。

※将棋の結論とは「先手必勝か後手必勝か」ということ



【正門周辺の花】



スパニッシュフラメンコ(写真左上)の愛らしいピンクの花が咲いてきました、昨年も上は桜の淡いピンク、下はこの花のピンクで彩りました。今年も楽しませてくれることと思えます。

クリスマスローズ(写真右)は、白かった花がピンク色に変わってきました。花期も長く、面白い花ですね。



また研修棟(旧定時制棟)で育てていたサイネリア(写真左下)も玄関口と生徒通用口に並べました。寒さに弱い花なので少し心配しているのですが、「卒業式前」ということもあり、「少しでも華やかに」と思い外に出しました。開花にはもうしばらく時間がかかりますが、今年は300株(去年の3倍)ほど育てているので、それらが咲きだすと驚くほど賑やかになります。



【中庭の池周り】



昨夏作った池周りの写真です。池周りには、灯籠前のシバザクラを株分けして植え、池の中には「原始ハス」、池の上の白い花は「ノースポール」、池の向こう側には「キンセンカ」を配しています。他にもパンジーで花文字、空いたスペースにネモフィラやノースポール、スパニッシュフラメンコ、チューリップ、ガーデンポイントとして中央にバラ、ニューサイラン、ラベンダーなどを育てています。4月から花が順次咲き始めるので、中庭がどう変化していくか、皆さんと一緒に楽しみたいですね。

【春を待つ花たち】



左の写真は、昨夏咲いていた「サフィニア」です。冬を迎える前に短く刈り、不織布で覆って寒さ対策をしました。何株かは枯れたのですが、ほとんどが冬を越してくれました。これから暖かくなるとぐんぐん育ち、挿し木をしながら株数を増やしていきます。また下の写真は、アジサイの寒挿しです。



夏にもアジサイを挿し木で増やしたのですが、冬も挿し木ができるということでチャレンジしました。今のところ順調に育っています。アジサイは、南門から生徒通用口までの東側(溝沿い)に植えるつもりです。

【今咲いている花たち】



菜の花が咲いています。校内4か所に植えたのですが、1か所を除きほぼ咲いてきました。また、この花の種を搾って油が取れるので、別名「アブラナ」って言うのですよ。江戸時代は行燈用の燃料や食用油として、今でも「菜種油」として製造販売されています。ちなみに「キャノーラ油」は、菜の花を品種改良したキャノーラ種から作られています。 文責: 廣川